

Hearn: the Last Hunter

and other stories

[編] ブラッドレー・ボンド

Bradley Bond

[訳] 本兌有+杉ライカ

Honda Yu+Sugi Leika

妖
怪
五
十
両

ハーン・ザ・
ラストハンター

アメリカン・オタク小説集

あなたのニューロンを直撃する
試し読み小冊子

★収録短篇の中から、「ハーン・ザ・ラストハンター」を一部掲載

「ニンジャスレイヤー」シリーズ著者 バンブードリー・ボンドによる序文

長きにわたりニンジャ小説を執筆している中で、私はしばしば「そのイマジネーションの源泉はどこにあるのか？」といった質問を受けます。言わずもがな、それは日本の様々なカルチャーやエンタテインメント作品……映画、小説、漫画、ゲーム、音楽など……とにかく日本の全てです。サムライ、ニンジャ、ヤクザ、ゲイシャ、カラテ、スシ、ゼン……それらは何歳になっても、また世界情勢がどれほど変わっても、私の心をワクワクさせ続けてくれるのです（おそらくあなたがガンマンや、吸血鬼や、スパイや、魔法使いや、スーパーヒーローや、タコ頭の邪神などに心ときめかせるように）。

しかし、それだけではありません。私は日本をテーマ（あるいは舞台）として扱うアメリカの作品群にも、強く魅了されてきました。一例を挙げてみましょう。映画ならば『ブラック・レイン』や『キル・ビル』や『ラスト・サムライ』や『ニンジャ・サンダーボルト』、小説ならば『ニューロマンサー』や『シブミ』や『ザ・ニンジャ』など。最近のタイトルだと『GODZILLA』や『ノイマックス』も大いに楽しみました。このように私は「日本産の日本作

品」と「アメリカ産の日本作品」の双方を愛好しているのです。

さて、これまでに私が挙げたのは、どれもプロの手で作られた有名な作品群ですが、実は私の家の書齋には、多くのアマチュア作家の手で書かれた日本テーマの同人小説群もコレクションされています。彼らも私と同じように、ここで挙げたような双方の作品群から強い影響を受けて、日本テーマの作品を書いているのです。

今回はその中から、ぜひ日本の読者の皆さんにも読んでいただきたい、とても面白くてパワフルな作品を、いくつかピックアップしてみました（翻訳や各作者とのコンタクトについては、私にとって旧知の仲である日本の翻訳チームに任せました）。情け容赦ないヨーカイ狩りのダークファンタジー、日本の篠山^{しのやまけん}県を舞台としたサイバルホラー、宇宙のトーフ工場を舞台としたSF、MORPGもの、少年漫画スポーツもの、そしてカワイイな女子高生が操縦する巨大ロボットものまで……なるべくたくさんさんのテーマやジャンルを網羅^{もうら}できるように、バラエティ豊かな短編作品群を選んだつもりです。個々の作品の面白さについては、私が保証します。まずは読んでいただくのが話が早いでしょう。各作品と作者の背景については、翻訳チームによって付された「解説」が理解を助けてくれると思います。では、どうぞお楽しみください！

ブラッドレー・ボンド

二〇一六年七月 ニューヨークにて

トレヴオー・S・マイルズ
Trevor S. Miles

ハーン・ザ・ラストハンター

収録短篇の中から、
「ハーン・ザ・ラストハンター」を
一部掲載します

Hearn: the Last Hunter

蕎麦屋の屋台であった。

何故こんな街外れの松林に、蕎麦屋台が？
だが、助かった。命拾いをした。

「おい、誰か！ 誰かいるかーッ!?!」

トミキチは駆け込んで暖簾をくぐり、席についた。

「どうなさったね、若い」 屋台の奥で、蕎麦屋が言った。「追剥ぎにでも遭ったかね？」

「ハアッ！ ハアッ！ 聞いてくれよ！ 追剥ぎなんてモンじゃねえよ！ 追剥ぎの方がよっぽどマシだぜ！ 俺ア見たんだよ！ ありやあ、絶対……!」

ヨーカイだ。そう心の中で叫び、トミキチは怖気を振るった。

「絶対、何ですかい？」

「ありやあ、絶対……!」

暗闇の中で見た化け物の貌が、脳裏に蘇った。

トミキチは頭を振り、それを己の記憶から追い払おうとした。

あまりの恐怖のせいで、トミキチの体は墓場の土のように冷え切っていた。

「……何でもねえよ！ それよりソバだ！ 寒気が止まらねえ！ とりあえず、温ったかいソバをくれ！」

「ははあ、何を見たか、わかりましたぜ、旦那。……この辺にや、出るんですよ」
蕎麦屋は仕込みでもしているのか、背を向けたまま返した。

「出る？ 何がだ!? 勿体つけてねえで、いいからソバをくれッて言ッてンだよ！ このままじゃ、どうにかなつちまいそうだぜ！ 頭がよオ！」

トミキチは逆上した。だが、すぐに異変に気付いた。

「イヒヒヒヒ……」背を向けたままの蕎麦屋店主は、不気味に笑い始めたのだ。

こいつは、何かがおかしいぞ、とトミキチが思ッた途端。

「そいつあ、きつと、こんな顔の奴だつたんじゃあないですかい……!!」

地獄の底から響くような不吉な笑い声とともに、蕎麦屋店主は振り向いた。

そこには、剥かれたゆで卵の如き異形の面相！

目も、鼻も、口すらもなく、真っ白なラバーめいた皮膚が不気味に蠢いているのみ！

これこそは、群れ成して旅人を狂気に陥れるという、忌まわしきヨーカイの眷属、ノツペラ

ボウに他ならなかった！

「アイエエエエエエエエエエエエエエエエ！ また出たアアアアアアア！」

トミキチは叫んだ！ 彼は今夜、三度目のノツペラボウに遭遇したのだ！ 最初は、街道沿

いに座り込んでいた旅のオイラン！ 次に虚無僧！ そして三度目はこの蕎麦屋！ 逃げ切つ

たと思うたび、顔の無い悪夢はトミキチを嘲笑うように再び現れたのだ！

「アイエエエエエエエエエエエエエエエエエエエエエエ！」トミキチの持ッていた提灯の灯りが揺れ、

狂気が彼の精神を完全に破壊せんとした、その時！

松林の暗がりから長さ一メートルの鋼鉄鋸が飛来し、屋台の木組みを木々端微塵に破壊し、

十の偉丈夫。「幽霊十両」「妖怪五十両」と毛筆で書かれたぼろぼろのノボリが二本。さらに鞍の背もたれには、小さな仏壇と箆の複合物のような装置が備わり、四つのウインチと、それぞれの鎖を巻き上げるための手回し棒が左右に伸びていた。

「キノクニ・ヴァレイの暗黒の松林を根城とする、ノツペラボウ三兄妹の長兄に相違無いな」馬上の男は呵々と笑い、遅しい右腕に力を込めてウインチを巻き上げながら、奇妙なアクセントで言った。「貴様が最後だ。見るがら」

革手袋をはめた男の手が指差す先、漆黒の馬が背負う複合ウインチ装置の後ろには、すでに二本の鎖が引きずられていた。

無論、その先にはこの男が仕留めた獲物。

ローマ式戦車の後ろに鎖で結え付けられた犠牲者の如く、既に二体のノツペラボウが、馬に引きずり回され無残な死体へと変わっていたのである。

「おお！ おお！」

ソバ屋に擬態したノツペラボウは、同胞たちの末路を知り、呻き、罵った。

「呪わしや！ 貴様、ハンターか！ ショーグンの犬！ ヤナギダの下僕！ 殺戮者！ 呪われろ！ 永遠に呪われ」

BLAM！ BLAM！ BLAM！

馬上の男はウインチェスターM1873式ライフル銃を構え、情け容赦ない射撃を、足元のソバ屋に対して、立て続けに三発撃ち込んだ。

「ウツ！」うつ伏せになったノツペラボウの体は泥の上で小さく三度跳ね、失禁し、物言わぬ死体へと変わった。

ブルルル、と、黒い軍馬が満足げに鼻を鳴らした。

「アイエエエエエ……」

トミキチは目を白黒させてそれを見ていた。

「し、信じられねえ……！ ヨーカイを、殺しちまった……!？」トミキチは、それが危険な事であると知りながらも、己を救ってくれたこの得体の知れぬ偉丈夫の顔を照らすべく、未だガタガタと震える手で提灯を掲げた。

その倫敦製ロンドン製と思しき罈つば広帽ひろぼうの落とす深い影と、傷だらけの分厚い革製インバネス・コートの高い襟えりの間に隠されたその顔を、何としても見たいと思ったのだ。

「だ、旦那！ あんたは一体……!」

弱々しく差し込む提灯の光にくすぐられ、男は眩まぶしそうに目を細めた。男の額と眉間まゆげんに深い皺が寄った。そこには、風雨に吹き曝された厳いめしいガイジンの顔があった。肩口まである灰色の頭髮は波打ち、いかつい顎あごの周りにはやはり灰色の無精髭。

加えて、その男は隻眼せまがしであった。

「……あんたは一体、何者なんです?！」

トミキチは問うた。

隻眼のガイジン偉丈夫は何も言わず、ただ、革手袋に覆われた手で、己の左目を覆う黒革の

眼帯を指差した。それは狩り殺したレッサー・テングの革を、タンニンと偉大なるヤドリギの液で丹念になめして作った、底無し井戸の穴のように黒い眼帯であった。

その眼帯に、白い漢字が一字。

ゴシック鬚英字じみた威圧的な書体で、「半」と刺繡しゅうされていた。

それこそが、この男の名であった。

トミキチは畏敬の念に打たれ、深い溜息とともに、彼の名を呼んだ。

「……ハーン……!?!」

**ハーン強し！だが桁違いに凶悪なヨーカイの
魔手がすぐそこまで迫っていた……**

さしものハーンも、もはやこわれまでか?!

続きは物理書籍版で今すぐチェック!!

編者序文

006

ノツペラボウ銃殺ノハーンが殺すノ殺すノ撃ち殺す!

ハーン..ザ・ラストハンター

トレヴォー・S・マイルズ

009

ハーン..ザ・デストロイヤー

トレヴォー・S・マイルズ

043

訳者解説

089

ハイスクール・センパイ・巨大ロボット・吸血鬼・アクション・ロマンス!

エミリー・ウィズ・アイアンドレス

エミリー・R・スミス

095

〜センパイポカリプス・ナウ!〜

訳者解説

112

豆腐スペースコロニーの寂寥と狂気を描くSFサスペンス

阿弥陀6

ステイーヴン・ヘインズワース

119

訳者解説

143

ネットケツ・ハイパー・スポーツ・アクション

流鏑馬な！ 海原ダンク！

アジッコ・デイヴィス

訳者解説

182

145

シヨツク!! 日本の奥地に食人族!! 戦慄のソリッド・ゴア・ホラー

ジゴク・プリフェクチュア

ブルース・J・ウォレス

訳者解説

233

185

ジャパニーズ・ペーソスを折詰にした

隅田川オレンジライト

デイヴィッド・グリーン

隅田川ゲイシャナイト

デイヴィッド・グリーン

訳者解説

257

249

235

奇跡と感動のカルチャーギャップMMMO!

ようこそ、ウィルヘルム!

マイケル・スヴェンソン

訳者解説

311

259

訳者あとがき

314



「ハーン・ザ・ラストハンター」
筑摩書房特設サイト



ブラッドレー・ボンドの刊行記念
インタビュー、更なる試し読み
コンテンツなど続々更新中!

<http://www.chikumashobo.co.jp/special/dhtls/>

ハーン・ザ・ラストハンター 筑摩書房 検索



最新情報はこちらでチェック
@CHIKUMADHT